

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 5月 7日

事業所名 りんくる前田

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7				
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	4	1	2		玄関やトイレに段差有り 現在、その配慮が必要な児 童はいない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	7				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	6	1		毎年保護者の方からの評価を 受け、改善を図っている。	保護者からの意見も真摯に 受け止め、よりよい支援に繋げ ている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7			ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	2			必要であれば外部評価を実 施していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	7			研修がある時には、周知され る	
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7			更新時にはアセスメントを記入 して頂き、子どもの課題と照ら し合わせて、サービス計画を 作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	7				
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	7				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	7				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援している	7				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	7			児童の特性に合わせて、作成 している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	7			午前中に当日の送迎や活動 内容を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	7			翌日に前日の振り返りを行い、課 題が上がった場合はどの様に支 援していくか話し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	7			計画相談員さん、保護者と 児童の様子などを確認し合 い、必要があれば見直しを 行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	7				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	3	4		現在、対象児童がいない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	2	2	相談員さんから聞き取りを 行っている。	今後も連携を強めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	1	4	2	対象児童がいない	今後対象児童がいる場合に は対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	2	1		機会があれば、研修や助言 を受けたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	6		1	地域の公園などで一緒に遊 んだりして交流を図ってい る。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	1	5		機会があれば参加していきた い
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	7			連絡ノートやLINEを用いて 活動の様子などを報告して いる。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	6	1			ペアレント・トレーニングとま で言えるか不明だが、助言等 を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7			契約時に読み合わせ、説明 を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	7			モニタリング時だけではなく、 普段からLINEや電話などで お聞きし、必要に応じて来 所していただき、助言を行っ ている	今後も、気軽にご相談いただ けるような雰囲気作りをしてい きたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5	2		年に1回保護者会を開催 し、 保護者同士が話し合える場 を設けている	今後も保護者会を開催してい く。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7			ホームページやブログにて 発信している	
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	3		4	1年に一回発表会を開催し ている。	イベントに広く周知できるよう 努めていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7				保護者に対して周知が十分でない部分もあるため、しっかり周知して行けるよう対策していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			避難訓練を行っている	時間が取れる土曜日にしかできていないため、平日利用のみの児童は参加できていない。今後は、長期休みなどを活用し、なるべく多くの児童が参加できるようにしていきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			事例が無い	今後、対応が必要な児童が出てきた場合には、保護者としっかり話し合い了解を得て対応していきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			保護者からの情報提供のみ	今後も、保護者との連携を密に行い、安全に過ごしていけるように配慮していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			事故等が怒った場合には アクシデント・インシデント報告書を作成し、各事業所に周知している。	